

令和元年度第1回富里市産業振興推進会議議事録

- 1 日 時 令和元年12月16日（月）午前10時から午前11時55分
- 2 場 所 富里市役所本庁舎3階第3会議室
- 3 出席者 （委員）（順不同、敬省略）
小川加苗、秋元和子、寒郡茂樹、原幸司、吉田武重、
飛ヶ谷 祐示子、高森茂人
（アドバイザー）中山健
富里市長
（事務局）市民経済環境部長、農政課長、商工観光課長、
商工観光課事務局
傍聴者なし

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 会長挨拶
- 4 議 題
 - (1) 富里市産業振興ビジョンの進捗状況について
 - (2) 富里市観光振興アクションプランの進捗状況について
 - (3) その他
- 5 その他
- 6 閉 会

〔会議概要〕

- 1 開 会
過半数以上の委員の出席により、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により会議は成立
- 2 会長あいさつ
（寒郡会長あいさつ）
- 3 市長あいさつ
（五十嵐市長あいさつ）

事務局 富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、会長が議長となり議事を進行する。

4 【議題1】

「富里市産業振興ビジョンの進捗状況」について、事務局より説明をお願いします。

(資料により説明)

会長 それでは、委員の皆様からコメントをいただきたいと思います。

A 委員 盛り沢山の事業を行われてきたことが確認できました。

あえて質問ということであれば、平成30年度に産業振興ビジョンができたので28年度、29年度に行った事業の違いとか、この取り組みでどのくらい変わった事が起きて、その成果がどうなっているかの概要があれば、非常に成果が解りやすいと思います。可能であればよろしくをお願いします。以上です。

B 委員 今年災害がひどくて、作物に被害が出たりしました。そうすると若い人達がやる気をなくしてしまったりすることもあるので、新規就農者が増えるにはどうしたらいいか、若い人達が進んで農業ができるにはどうしたらいいかなど、そういうことに対してこれから考えていきたいと思います。

C 委員 市内の商工業者の数ですが、今商工会で把握しているのが約1300で、毎年商工業者数の調査を行うのですが、高齢で廃業される方が結構いるという印象です。また、創業セミナーを毎年行っており、今年も8名ほど参加されておりますが、世代事業承継という言葉がありますけれども、富里で商売をされる方の中でいかにそうやって世代転換を行っていくのが課題なのかなという感じはしました。以上です。

D 委員 市民活動サポートセンターでは、職場体験の学習ということで、市内3つの中学校を受け入れたのですが、いろいろな事業所について、子供達が興味を持って、それを体験して、富里を好きになってもらう

ことで、富里に就職をしていただいて、事業の貢献をしていけたらということだと思います。

そういう中で多くの事業所の方が、今後もワクワクワーキングの受け入れをしていただけたら嬉しいと感じました。以上です。

E 委員 最近は自然災害が多い。それと生活環境と経済環境が非常に激変しています。こういうプランをたてた時と近況がマッチングしないようなスピードがあると思うので、その辺をとらえていかないと追いつかないかなという気がいたします。

会 長 産業振興ビジョン年次報告書の中で特に気になった点があくつかあります。

まず、商工業の振興の中の雇用機会の確保ですが、現状の中で雇用機会の確保というのは時代がついていってないかなと思います。

成田国際空港の第3滑走路もほぼ決まった訳で、空港内だけで3万5千人の新規雇用が見込まれ、この空港周辺地域は慢性的な人手不足という状況であり、雇用の確保ということを一つの項目として必要なのかなという気が私は個人的にしますが、次のページの22、23ページの人材の確保という部分が出てきます。それで28、29ページにも特に民間との連携による雇用促進の中で外国人技能実習制度についての研修を実施したということもありますが、これだけ雇用が必要だという状況の中では、どうするのという話になるわけで、遠くの人になるべく利便性を持ってこの地に働けるようにしていただくと、茨城や都心の人もちらにきていただくということもそうですが、外国人の労働者も必要だということで、国も施策を行っておりますが、それに対するサポートというのは、実習制度についての研修会も良いのですが、もうちょっと踏み込んでみてはどうか。

特に農業関係ではJAさんであるとか、公の機関として外国人労働者という意味で、この地域で雇用を確保できるように、もうちょっと踏み込んでいただけないかなと感じました。

あと、細かい点ではありますけれども、16、17ページの企業誘致については、特に空港圏については、県の総合計画の方でも一体となつて国に対する「特区」ということで、土地利用について、特に農振地

域については、もうちょっと利便性のあるように、各市町村のマスタープランの中である程度規定すれば、農業振興地域についても多少の緩和も考えていくというようなことを目指していかれるということはお聞きしておりますので、企業誘致の推進については、もうちょっと詳細に、できればアクションプランを作っていただいて、また人員も配置していただくというようなことを積極的に行っていただけないかということがあります。

それと、最後ですが、14、15 ページの商工業の促進の中で、特に商工会に関係しておりますが、経営発達支援計画ということで、国の認定をいただいて、特に小規模事業者等に対して補助金を出す制度がございますが、今後は市町村を含めた計画があるものですから、常に変わっておりますので、当然 PDCA で回すといっても、もっと早くいろいろなことを行っていかないといけないでしょうから。防災のことについても同じですが。

ですので、その辺をもうちょっとフレキシブルに行えるような形を入れ込んでいただければと思います。以上です。

A 委員 まず、16 ページの企業誘致の推進についてですが、観光協会のメンバーは、地元の中小企業の経営者がほとんどであって、地元の中小企業がしっかりとした経営ができていなければ観光に取り組むこともできない部分もありますので、ここで意見を述べさせていただきたいのですが、企業誘致というのは、主に大きな会社を想定して、当然のことながら、工業団地に誘致することが想定されているところですが、通常の事業活動の中で中小企業、小規模事業者から多く相談を受けることが、特に酒々井インターができてから富里に事業所を出したいという相談を多数受けている。

しかし、富里に進出事業所を出すことすらできないという現状があります。そういう面も含めて、今までも申し上げていることではありますが、企業誘致の方向性について、もう少し積極的なものが盛り込まれてくると非常にありがたいなと思っております。

次に 20、21 ページで特に 21 ページのところで、子育てお母さんの再就職セミナーということで、これもよく話しますが、人材不足というのはどこも非常に重要な課題になっております。

最近の傾向では、子育て世代のお母さんがいかに仕事ができるかということが重要で、最近の保育園の状況によって、シングルマザーの方も多いので子育てしているお母さんの就職率というのはだいぶ変わっているのではないかと思います。

富里市外から富里市の会社に仕事に来ているという方は当然たくさんいるわけで、そうすると自分の住んでいる地域の保育園の状況が良くないので、仕事に復帰できないということが、非常に多く見られるようになってきました。

そういうところが解決できると、例えば市外の方を受け入れるとか企業の託児所、小規模の事業所でも託児所を出していけるような施策をしていくことが雇用という面では重要になってくるのではないかと思います。以上です。

F 委員 農商工や地域資源を活用した取り組みや空港周辺地域の連携など、非常に地域の特色を捉えて様々な取り組みやイベントを行っているということを感じとして持ちました。

今回いろいろな実績をご報告いただいておりますが、数値目標のようなものは特に設けずにやっていくのでしょうか。

このような計画というのはよく PDCA で回していきますが、県ですと元気戦略の中でも数値目標を設けながら毎年評価をしていくというやり方をしています。そういうやり方をしているのかどうかということを質問させていただきます。

会 長 それについては、お答えいただけますでしょうか。

事務局 ただいま、数値目標等のご質問がありましたが、現段階の年次報告書におきましては、これはあくまでも産業振興ビジョンの具体的施策についての実績をお出しした形になります。それぞれのアクションプランを策定する中で、可能であれば数値目標等を設定しながら PDCA を回していけるように考えております。以上です。

アドバイザー ひとつ聞きたいのですが、最後のページの創業支援セミナーで、1 か月間の中で 4 週連続行うということがありましたが、こちらの参加

者数はわかりますか。

事務局 受講者数は 11 名でございます。

市内商業者に証明書を発行した件数として 2 件でございます。

アドバイザー 全体を見て、多岐に渡る事業が着実に行われているということが理解できる内容になっていると思います。

ただ、他の委員の方からもご指摘がございましたように、昨年度との比較できる数字が、例えば昨年度何件で今年度何件増加した、減少したなどということが明示されれば、対外的にも事業の成果がわかりやすく伝わるのではないかと思います。

今年度は台風災害があり、復興事業等いろいろ取り組まなければならないという特殊事情があるなかで、これだけ多くの項目があると取り組むだけでも精一杯だったという状況にあったと思います。

今後の方向性としては、やはり確実に成長する分野に力を入れていった方が良くと思います。特に、成田空港に関連した様々な事業案を創出することは富里市や市内事業者・農業経営者が取り組むべき優位性の高い事業なので、空港や関連機関との連携を図ることで、互いの相乗効果が発揮できるようになると思います。また、それが起爆剤になって産業全体が発展するきっかけにもなります。

会 長 冒頭、お話をさせていただきましたように、皆様方にコメントをいただくようなペーパーもあるようですので、いきなり内容を見てコメントというのは難しいと思いますので、それについてはご協力いただければと思います。

4 【議題 2】

「富里市観光振興アクションプランの進捗状況」について、事務局より説明をお願いします。

(資料により説明)

会 長 それでは、委員の皆様からコメントをいただきたいと思います。

A 委員 アクションプランを振り返ってみると、非常に商工観光課の皆様は

プロモーションに1年中駆けずり回っていただいて、大変お疲れ様でございました。

ひとつ思うのは、誰が主体性を持ってやるのかというのは、微妙なところがあって、そういう意味では、観光協会がもう少し時間を割いて、動くことができた方が良いと思います。

そのために、観光協会のメンバーを観光について利害関係のある者で構成するなど、思い切って人事の刷新をしないとなかなか活性化していかないと思います。

これだけ動いていただいて、一つ一つの事業評価をされていると思うので、ここに載せると膨大な量になると思うので、入込み客数の報告がありますが、なるべく目的というのは一つ書いてあるので、成果が見えるとまた次のアクションに繋がるのではないかと思います。

最後に、入込み客数の計算方法ですが、いろいろここに課題があるかと思います。

観光振興アクションプランの進捗に伴って、また入込み客数の計算方法もまた変化していくものなのではないでしょうか。

事務局 入込み客数の計算の仕方は、今まで市として常に報告させていただいている数値というのは、県の観光入込み客数の調査が年に数回ございまして、その合算数値というものを公式的な数値として発表させていただいたところではありますが、ただ、県の調査につきましては、何千人以上集客のあるイベントやそれが2年以上きちんとやっているイベントなのか等のいろいろな基準がありまして、市内で行われているものであってもそこにカウントできないものもございまして。

富里市の観光振興アクションプランにつきましては、市内で行われている、県の土台には乗らないものにつきましてもイベントとして集客があるものもございまして、拾っていくように考えてございまして。

県の報告数値とは別にアクションプランを作ったので、これはこれについての数値としてはカウントしていこうと考えております。

B 委員 三笠焼とみちゃんというのは、初めて聞きましたが、これはどこで売っているのでしょうか。

どうしても富里市は道の駅がないので、そういうのがあればいいな

と思いました。

それと、旧岩崎邸の活用とは主に学生が対象となるのでしょうか。私の所属する団体でも視察研修等を考えるときに、せっかく富里市にこういったものがあり、行ってみたいと思います。

富里市は観光が少ないので、他所に行ってしまうのですが、地元でそういうところがあるのを知らないというのは残念だと思って、1回行ってみたいと思いました。

事務局

まず、三笠焼とみちゃんにつきましては、市内日吉台大通り沿いにございます「ケーイー食品開発」という企業さんの商品になっておりまして、「はすっ娘本舗」という店舗が販売事業所となります。そちらに行きますと通常商品として置いてございますので、是非よろしくお願ひします。

先程、視察研修等で市内の旧岩崎家末廣別邸をお考えということにつきましては、管理が教育委員会になってございます。

市内の農協青年部や他の団体も昨年度見学をしておりますので、そういった面で可能かと思われまますので、一度ご相談いただければと思ひます。

C 委員

広く富里を知ってもらうために、いろいろなところに市役所の方や観光協会の方が出向かれてPRして、その他にいろいろな会議に出席されて、大変ご苦労されているのがここで報告書を見てわかります。

一点気になったのが、いろいろな情報を商工会の全国連の観光宝探しノートに出すことや、B 委員が仰っていた、三笠焼とみちゃんは商工会の会員でございまして、市民の方が知らないというのは観光以前の話であると思うので、富里の業者さんが、例えばいろいろな開発をされているとかこういう商品を開発したとか、まず市民の方に知っていただくことが必要ではないかと思ひました。

例えば、広報やホームページ、市内小学校にチラシなど可能な範囲で広報すれば、少しは皆さんに興味を持っていただけるのではないかと思ひました。以上です。

D 委員 かなり多くのイベントに行かれていて大変だったと思いますが、PRをすごくされているなと思いました。

ただし、富里のいろいろな産品協議会で作っている商品は、やはり知られていないという部分があるのかなと思いました。

今年、市民活動サポートセンターで富里高校の文化祭に行かせていただいて、高校生の生の声を聞こうということで、産品協議会の商品を持って、商工観光課の方と一緒にさせていただきました。やはり、食べてみると「すごいおいしい」という高校生の声があって、「おいしいけどどこで売っているの」、「売っているところがわからない」、「売っているところがわかれば買いたい」という声をかなり聞いたので、その辺を市民の方から若い世代にまでPRができたらいいなかなと思います。

また若い世代の方に興味を持ってもらって、そこに一緒になってプロジェクト等をできたら素敵なことだなと思います。

E 委員 当市でもジョイフル本田の近くに牧場跡地がありました。今は整備されて広場になっております。あれも相当のお金をかけて整備された状況で、富里成田地区には道の駅というのはない。それで集客にはあそこを活用した何かができないかなとワンポイント的な考えで申し訳ないですが。牧場跡地の利用について、観光面で欲しいなというのがあります。以上です。

会 長 4つほどございます。

まず1つ目は、専門人材の育成について、現状見ておりますと、フィルムコミッションは非常にうまくいっておりますが、商工会の局長が一生懸命行っているところもあって、またA委員からもありましたが、観光協会も含めて、他の団体との協働ということなど、いろいろなことが足りていないかなと。

基本的に商工観光課で作ったアクションプランは非常に素晴らしいものだと思いますが、その部分の整備的なことで、他の団体ともっとマッチングさせたり、人を育成したり、また市の中でも観光に対する専門的な人がいてもいいのかなという気もしますので、その部分を一点お考えいただければと思います。

それと、先程出ておりました、ふるさと産品については、商工観光課さんもどんどん増やしていこうというような意味合いがあると思いますが、その場合に、やはり商工業者の視点からいくと、少しでも売れてくれればありがたいですが、では、どういうふうにすればいいのか、ご検討いただければありがたいのですが、給食で使っていただいているかがでしょうか。小学校にふるさと産品で認定された物です。業者も売れて嬉しいかもしれません。ご検討いただければと思います。

それと、旧岩崎家末廣別邸についてですが、市民は、観光の一つの拠点だという認識があるのではないかと思います。アンケート等を取ってみたいとわからないところはありますが。そうなったときに、現状の中で、岩崎別邸については、富里の農業の発祥も含めた中で、歴史的に文化財として当然残していくべきだと思いますが、位置づけとして観光ということを出すと、やはり相反する部分もあります。

今回の内容を見ておきますと、やはり書き方として、22 ページですが、目的という中では末廣別邸を核とした教育、文化、観光、産業の一体化によるまちづくりということですが、これは無理ではないでしょうか。教育と文化と観光と産業は割と相反しますので、この部分に関しては明確にさせていただいて、できれば私、個人的な意見としては、商工観光の方で一元的に観光の拠点という位置づけの中で、しかし建物は守っていくという位置づけをしてもらった方が良いのではないかと思います。そこら辺は是非ご決断、ご検討いただければと思います。

最後に、商工観光課で作られているアクションプランの中で、テストが足りないと思うのは「馬」です。

「馬」の部分につきましては、歴史もありますし、乗馬クラブも13か所あるのでしょうか。観光入込みには入ってこないですね。乗馬クラブという特定の会員が対象ということで入ってこないかもしれませんが、富里の中で非常に特筆すべき、日本の中でも有数のところだと思いますから、その部分をもう少し強調していただきたい中で、私の知り合いがよく言っていることで、富里高校に乗馬クラブができないかという話がありましたが、お金がかかるので大変でしょうけれども、戦略的に乗馬クラブがオリンピックに出るなどがあれば、非常

にまちおこしとして有効かなと思いますので、これもアイデアで申し訳ないのですが、ご検討いただければと思います。以上4点でございました。

F 委員 非常にたくさんのイベントや会議に、限られた人数で参加されて大変だったのではないかと思います。

また、事業も県の行っている取り組みにもリンクするところもあって、非常に幅広く網羅的にやられているのかなという印象です。

私の方からは一つだけ、外国人向けのインバウンドの取り組みというのが何個かあります。今はオリンピック、パラリンピックが直前ということで、これは30年度の実績なので、今年はもうちょっといろいろ行われているのではないかと思います。折角成田にも近いということもあるので、オリパラという時期的なものや土地のもののメリットとチャンスを生かした施策を行っていただければいいのかなと思います。

あと、25ページのインバウンドに絡むところで、成田空港とともにトランジットツアーの検討やモニターツアーの実施をされたというのがありました。これは30年度の状況ですが、何か形になってきたりしているのかというところが気になりました。

あと、それに関連して、2～3年前に日吉の商店会でインバウンドのモニターツアーということを行って、県としても商店会の取り組みの優良事例として取り上げておりました。

そういった、インバウンドを使ったモニターツアーを行うだけではなく、それが形になっていくと非常に良いと思いますので、今後も取り組みを進めていただくと良いのかなと思いました。以上です。

事務局 今、お話にございました、成田空港とのトランジットツアーにつきましては、2年ほど前からNAAさんとさせていただいているところですが、実際、今年度の頭にもNAAさんにお邪魔いたしまして、令和元年度に富里市で乗馬を入れ込んだモニターツアーというかトランジットのモニター的という話を年度始めにさせていただいて、市内の乗馬クラブにも受け入れが可能かというところまで調整させていただいて、秋頃行う予定でございましたが、台風の影響で実際に行おうとして

いた時期が流れてしまいまして、今年度は目途が立たないので、また仕切り直しで話を詰めていきたいというところです。

会 長 モニターツアーに参加していただいた、日吉台の三井温熱さんという業者さんがありますけれども、台湾の方々との交流が盛んになったということがあったと思います。

事務局 三井温熱さんは、日々独自で、お店の方でもアジアから韓国や中国、台湾などのお客様をお連れして、通訳等もお店独自でお願いできるルートがあるようで、そういった取り組みをされています。

温熱治療がメインですが、温熱治療プラス食の部分でも体に良い「食」、地場産の物ということで、富里や近隣の食材を使ったお食事会を入れたツアーを行ってございまして、日々いろいろトライしていただいている事業者さんで、実際、空港周辺の観光情報を洗い出そうということをお客様主導で行った時にも、市内の特色ある事業者さんということで、お名前は県の方にも提供させていただいているところです。

アドバイザー 多くの事業が行われておりますので、観光協会との役割分担を図っていかれると良いと思います。

また、ブランド化に関しましては、今後さらに力を入れなければいけない点だと感じます。要は、「富里ブランド」をどう作り上げていくかということです。世界に発信し、国内だけでなくインバウンド観光客も呼び込むこと、そしてそれによって地域全体を活性化していこうというのが、成田空港の近接市における観光の大きな目玉になり得ると思います。

ブランドの材料となるものは様々ありますので、それらを探し出しPRする、まずはその情報発信が重要だと思います。

マスコットキャラクターはブランドの一つになりますけれども、SNSでの発信をこれまで以上に、例えばアクセス数を10倍以上増やすことを目標にしていくべきだと感じます。

それから、「とみちゃんツイッター」がありますけれども、それ以外に「とみちゃんフェイスブック」を作りそこで三笠焼とみちゃんを紹介するなどしていけばいいのではないかと思います。そして、それと並行してユーチューブでも積極的に発信していくという、メディア・

ミックス戦略が重要になります。

その際、まず日本語版で作り、英語版、中国語版へと拡張していく。戦略的に段階を踏まえる必要がありますので、今の時代は SNS をうまく使い、特に海外に向けて発信をして、興味を持ってもらうことが必要です。また、その後はハラル商品化も考えていく必要があります。ハラル商品の開発、アラビア語による発信です。これは中東だけではなく、マレーシアやインドネシアなどからも強いニーズがあります。

少しずつ段階を踏まえて海外に向けて発信していくと、もっともっとこれを食べてみたい、行ってみたいという人たちが増えていくのではないのでしょうか。

今はブランドを創出していく段階だと思いますので、まずは認知をしていく、情報発信する、ファンを作るということを繰り返して、SNS の種々の媒体を作って海外、国内も含めて発信をし、1 度来たらその後はリピーターも増やしていくといった、プラスの循環を作り上げていくことを目標にすれば良いと思います。

特に国際空港に近いというのは、大きなメリットだと思います。また、滑走路の新設で雇用者が増えることも人口増、顧客増に結び付けられるチャンスでもあります。こうしたことは、地方の市町村ではなかなかできないことですので、立地条件をビジネスチャンスに生かすことを考えていきましょう。

地理的なメリットを生かしながら富里のブランド化を実現できれば良い方向に回っていくと思いますので、是非期待しております。

会 長 それでは、続いて議題の 3「その他」でございます。事務局から説明をお願いします。

4 【議題 3】

「(3)その他」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 「評価シートの提出方法について」
 「次回の会議開催の予定について」

事務局 「今後のスケジュールについて」

会 長 それでは、以上で議事を終了します。

5 その他

事務局 「9月の台風15号及び10月の台風19号、25日の大雨による被害状況について」

事務局 それでは、以上をもちまして、令和元年度第1回富里市産業振興推進会議を閉会いたします。長時間に渡り、ありがとうございました。